

丸の内会場
+ オンライン
同時開催!

コーポレートガバナンス改革の潮流を読む

～CGC改訂・東証市場再編のインパクトと日米英企業の比較を踏まえて～

日時

2023年7月4日(火) 11:30～13:30 (受付開始 11:15)

※ オンラインは 11:50 開始となります。後日の録画配信も予定しております。

会場

AP 東京丸の内 (東京都千代田区丸の内 1-1-3 日本生命丸の内ガーデンタワー3階)

参加費

会場参加
(昼食付き)

:会員 3,000 円 / 一般 6,000 円 (税込・当日、会場にてお支払いください)

オンライン

:会員 2,000 円 / 一般 3,000 円 (税込・オンライン決済でお支払いください)

一昨年のコーポレートガバナンス・コードの改訂と、昨年の東証市場再編を通じ、日本におけるコーポレートガバナンス改革は、一段と加速の様相を呈しています。特に、取締役会については、米英で浸透しているモニタリングモデルへの移行を意識し、監督機能の強化が要請されており、監督を主に担う社外取締役については質・量両面での強化が不可欠となっています。さらに、近年のサステナビリティ重視を受けて、取締役会の監督の範囲も今後はさらに拡大していくと考えられます。しかしその一方で、日本企業の対応状況はどのようになっているのでしょうか。

今回のセミナーでは、日本企業の機関設計、委員会の設置状況、さらには取締役会の構成や、取締役の保有スキルなどについて、TOPIX100 企業の開示資料の分析・考察を行うとともに、米国(S&P100)・英国(TSE100)との比較を織り交ぜながら、日本企業のコーポレートガバナンス改革における現在地と、今後の課題、さらには中長期のコーポレートガバナンス改革の展望について考察します。是非ご参加ください。

講師

山田 英司 (やまだ えいじ) 氏
株式会社日本総合研究所 理事

早稲田大学法学部卒業、University of Wales MBA 修了、EU Business School DBA 修了。建設会社の企画・管理部門を経て現職。現在は、グループ経営、M&A、経営管理などのリサーチ・コンサルティング業務を手掛ける。また、ベンチャー企業の CFO・監査役、大手機械メーカーの社外取締役、東京都や公正取引員会の審議委員も歴任。早稲田大学理工学術院非常勤講師。著書として『ボード・サクセッション』(中央経済社 2021)、『グループガバナンスの実践と強化』(税務経理協会 2020)など。



今後の勉強会予定

※8月は夏休みのため休会となります。

第145回 【題目】英国におけるコーポレートガバナンス改革の動向(仮題)

9月21日(木) 【講師】山口峰男氏(PwC あらた基礎研究所 所長)

お申込み

会場・オンラインそれぞれお申し込み方法が異なります。詳細はご案内メールにてご確認ください。
メールが届かない方は下記までご連絡ください。

[お問合せ先] 実践コーポレートガバナンス研究会 セミナー事務局 seminar@icgj.org

会場のご案内

会場 **AP 東京丸の内**

住所 東京都千代田区丸の内 1-1-3 日本生命丸の内ガーデンタワー3階
Tel: 03-5224-5109

交通 JR・丸ノ内線「東京駅」／丸の内線・千代田線・半蔵門線「大手町駅」から徒歩約4分
都営三田線「大手町駅」D6出口直結



主催

ICGJ

一般社団法人実践コーポレートガバナンス研究会

ウェブサイト: www.icgj.org | Mail: contact@icgj.org | Tel: 03-3539-3208

〒105-0003 東京都港区西新橋 1-18-6 クロスオフィス内幸町 3F